令和４年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「サウスイースト地区ハボローネ西中等学校教室建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館
令和７年１２月１０日

令和７年１２月３日、令和４年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「サウスイースト地区ハボローネ西中等学校教室建設計画」の引渡式が、進藤雄介駐ボツワナ日本国大使、ハボローネ西中等学校フランク・タウツァガエ校長、ボツワナ南東地域教育局タマゲ・コベ教育長代理及びハボローネ西中等学校関係者出席の下、ハボローネ西中等学校敷地内にて行われました。

本計画は、サウスイースト地区に位置するハボローネ西中等学校の敷地内に、特別支援教室（約150平米、教室（1室）、障害者用トイレ（男子1基、女子1基）、シャワー（男女共用１基）、職員室（1室）、保健室（1室）、実習用調理室（1室）、倉庫（1室）で構成される特別支援学級棟を新たに建設することにより、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業を行い、インクルーシブ教育の質の向上に寄与することを目的としています。

引渡式において、進藤雄介駐ボツワナ日本国大使は、今回のプロジェクトが、質の高い教育に向けた協力と共通のビジョンを反映していると強調しました。また、大使は、多様な障害を持つ学習者を支援するためのハボローネ西中学校の献身を称賛し、新しい棟がインクルーシブ教育に対する学校の長年のコミットメントをさらに強化するものだと述べました。

当プロジェクトは、両国における人間の安全保障に基づく共有の価値観と理念を通して、二国間の関係がますます発展・強化されることに貢献します。

(写真) 進藤雄介駐ボツワナ日本国大使によるスピーチ

(写真) 式典出席者との集合写真